

(共同リリース)

 2014年5月1日  
 日本航空株式会社  
 株式会社野村総合研究所

## 航空機整備、貨物搭降載業務にウェアラブルデバイスを導入し、 ホノルル空港にて、JALとNRIが共同で実証実験を開始

～JALスタッフがGoogle Glassなどを着用し、先進的な業務スタイルの追求にチャレンジ～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:植木 義晴、以下「JAL」)と株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:嶋本 正、以下「NRI」)は、2014年5月1日より、米国ホノルル空港にてGoogle Glass ※1 (Google Glass は、現在、米国内でのみ試験運用を行っている段階のため、本実証実験も、米国内で実施しています。)をはじめとした、ウェアラブルデバイス(頭や手などに装着するカメラやセンサーなどの小型装置)を活用し、先進的な業務スタイルの追求を目的とした実証実験を開始しました。

航空機の整備作業や貨物の搭降載作業を、効率的にかつ確実に実施可能とするシステムの導入を目指し、眼鏡型のGoogle Glassなどを用いて、ホノルル空港での各業務の中で実証実験を行います。また、その他のウェアラブルデバイス※2の活用も検討していきます。



写真1: Google Glassを装着した整備士



写真2: Google Glass

具体的には、ウェアラブルデバイスの持つ、カメラ機能や情報伝達機能を活かし、JAL本スタッフが遠隔地にいる実務スタッフへの後方支援を行うと同時に、スタッフにハンズフリー環境を提供することで、現場作業の効率性の向上や負担軽減を図ります。NRIは、企業と共同で新サービスの創出を目指す「NRI未来ガレージ」の一環として参画し、実際の空港の現場に必要なユーザーインターフェースの最適化などを進め、JALのより安全な運航管理業務とサービスの実現を目指します。



写真3: グローブ型ウェアラブルシステム イメージ

※1:眼鏡型のディスプレイで、インターネットやコンピューターにアクセスできるウェアラブルデバイス。

※2:手に装着し、眼鏡型ウェアラブルデバイスなどと連動するウェアラブルデバイス。

以上

お問い合わせ先	日本航空株式会社 広報部報道グループ 株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部広報課	TEL:03-5460-3105 TEL:03-6270-8100
---------	---	--------------------------------------